

京都大学文学部卒業生アンケート集計結果

令和6年3月実施

京都大学文学部・文学研究科では、卒業時・修了時にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。卒業生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

【結果の概評】

以下、結果の概評に移る。なお、一部項目の結果については2021年度から今年度にかけての推移を示している。その際、括弧内に「〈2021年度の数字〉→〈2022年度の数字〉→〈今年度の数字〉」という形式で記載した。また、選択肢「A」を最高評価として満足度や達成度を問う項目について講評する場合、「A」「B」という上位2つの回答を合わせて〈肯定的な回答〉とみなしている。

今年度は卒業生239名に対して144名の回答を得た。回答率は60.3%であり、低下が続いている（83.5%→70.1%→60.3%）。

内容を見ると、文学部の授業、そして文学部での学業を経て得た知識、技能については、例年通り高い評価を得ていることがわかる。今年度の卒業生の多くは、入学とともに新型コロナウイルスの流行に見舞われ、オンライン授業を強いられたが、専修への分属後はハイブリッド形式の授業や、通常の対面形式の授業を受けることができた。もちろん、それでも制約は大きかったが、授業の質を担保するための教員の工夫や努力も奏功して、学生は熱意を持って授業に取り組めたものと見ることができる。

Q.1はオープンキャンパスへの参加経験を問うものだが、今年度のアンケート回答者は、参加者が非参加者を20ポイント近く上回っており、例年よりやや高い数字となっている（参加者割合：54.8%→45.5%→59.0%）。

文学部の授業が「自学自習」の基本理念を実践するものであったかを問うQ.2では肯定的な回答が76.4%（73.1%→79.7%→76.4%）、文学部での学習の満足度を問うQ.3では肯定的な回答が89.6%（87.3%→91.7%→89.6%）と、一昨年度、昨年度に続き、いずれも高い評価が示された。

卒業後の進路を問うQ.4では、もっとも多い「一般企業に就職」（51.6%→56.6%→58.3%）と、次に多い「大学院進学」（35%→25.2%→26.4%）が、合わせて8割以上を占める。この傾向は、ほぼ例年と同様である。「一般企業に就職」が昨年引き続き増加しているのは、労働市場の状況を反映しているのかどうか、注視を要する。なお、「大学院進学」は過去のデータを見るかぎり、一昨年度のみ突出して多い。

文学部で学習したもののうち、今後役立つと考えられるものを選択させるQ.5での回答傾向はほぼ例年と同様であり、「一般的な教養」（76.4%）、「自分で問題を発見し、解決を図る能力」（60.4%）、「専門的知識」（50.7%）の順で特に高い評価がみられた。

Q.7~10はディプロマポリシーの達成度合いを問う項目である。いずれの項目も肯定的

な回答が7割を超えている。中でも特に、「問題を発見し解決する力を具え、創造的に取り組むことができる」で最も肯定的な回答が多かった(77%)。また、Q.11~15は全学共通科目における達成度を問う項目である。例年と同様に、概して高い評価が示されている中で、英語能力の向上度合いを問う項目であるQ.13は肯定的な回答の率が低い。しかしこの項目も、今年度は一昨年度・昨年度と比べて、やや改善している(45.7%→49.7%→57.6%)。今後、この傾向が続くかどうかどうか、慎重に検証する必要がある。

【自由記述欄】

今年度は、自由記述欄の回答が非常に少なく、傾向を読み取るのは難しい。睡眠障害に配慮して、オンデマンド型の授業を増やして欲しいという意見や、文学部専門科目としてドイツ語、フランス語、中国語の初学者向けコースを開講してほしいという意見があった。

以下、自由記述欄の内容をそのまま共有する。

- ・専修の選択は間違っただと思うが、間違えることは悪いことではない
- ・自学自習を掲げるのであれば、出席点という評価基準を完全に廃止していただきたい。睡眠のサイクルが乱れやすく、現地に赴いて講義を受けることが困難な学生をこの4年間で何人も見てまいりましたが、中には、高い学習意欲を持ち、自主的に学習するにもかかわらず、講義の開講時間にどうしても起きることができず、結果として落単、留年の憂き目に遭う者も少なくありません。睡眠障害と熱意は相関がないと考えます。そこで貴学では、コロナ禍におけるオンデマンド型の授業を増設していただきたく思います。自主的な学習を目指す上で矛盾のない形式であると考えます。
- ・初修外国語とは別に文学部専門科目としてドイツ語、フランス語、中国語の初学者向けコースを開講してほしい(文学部開講のイタリア語やロシア語、朝鮮語のような講義)
- ・文学部に入学して良かったと思っております。関係者皆様にお礼申し上げます。

アンケート名 令和5（2023）年度卒業生アンケート

部局 文学部

対象者数 239

回答者数 144

回答率 60.3

結果 (Q.01) あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？

- A: はい (85票/59%)
- B: いいえ (58票/40.3%)
- C: 無回答 (1票/0.7%)



(Q.02) 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、自学自習の能力が養われるような形で行われていると思いますか？

- A: 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている (57票/39.6%)
- B: 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている (53票/36.8%)
- C: どちらとも言えない (25票/17.4%)
- D: 自学自習の能力が養われるような形で行われていない (9票/6.3%)
- E: その他 (0票/0%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.03) あなたは文学部（特に所属専修）で学んだことに満足していますか？

- A: 十分に満足している (64票/44.4%)
- B: それなりに満足している (65票/45.1%)
- C: どちらとも言えない (9票/6.3%)
- D: 後悔している (5票/3.5%)
- E: その他 (1票/0.7%)
- F: 無回答 (0票/0%)



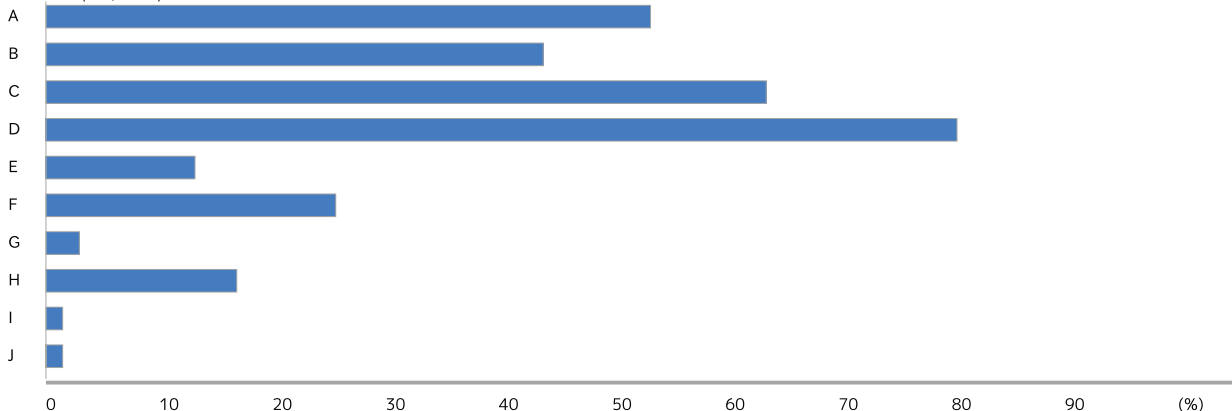
(Q.04) 4月以降の進路についてお聞きします。

- A: 大学院進学（他大学も含む） (38票/26.4%)
- B: 一般企業に就職 (84票/58.3%)
- C: 官庁、地方自治体等に就職 (11票/7.6%)
- D: 教員、司書等の専門職に就職 (5票/3.5%)
- E: その他 (1票/0.7%)
- F: 無回答 (5票/3.5%)



(Q.05) 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものはありますか？（複数回答可）

- A: 専門的知識 (73票/50.7%)
- B: 専門分野の研究能力 (60票/41.7%)
- C: 自分で問題を発見し、解決を図る能力 (87票/60.4%)
- D: 一般的な教養 (110票/76.4%)
- E: 国際感覚 (18票/12.5%)
- F: 外国語の能力 (35票/24.3%)
- G: リーダーシップ (4票/2.8%)
- H: 社会的常識 (23票/16%)
- I: その他 (2票/1.4%)
- J: 無回答 (2票/1.4%)



(Q.06) 差し支えなければ、あなたが所属していた系を教えてください。

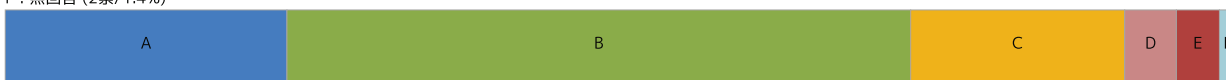
- A: 哲学基礎文化学系 (23票/16%)
- B: 東洋文化学系 (12票/8.3%)
- C: 西洋文化学系 (17票/11.8%)
- D: 歴史基礎文化学系 (28票/19.4%)
- E: 行動・環境文化学系 (48票/33.3%)
- F: 基礎現代文化学系 (12票/8.3%)
- G: 無回答 (4票/2.8%)



(Q.07) 以下、Q.07からQ.10で、文学部のディプロマポリシーに関してお伺いします。以下の項目についてどの程度達成できたか教えてください。

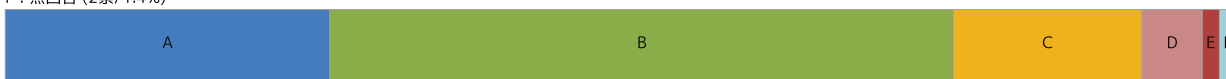
人文学に関わる基礎的学識を有し、その専門領域としての哲学・歴史学・文学・行動科学について深い理解力を持ち、また学修成果を卒業論文として集大成できる問題探求能力、分析能力、表現能力を身につけている。

- A: 達成できた (33票/22.9%)
- B: ある程度達成できた (73票/50.7%)
- C: どちらとも言えない (25票/17.4%)
- D: あまり達成できなかった (6票/4.2%)
- E: 達成できなかった (5票/3.5%)
- F: 無回答 (2票/1.4%)



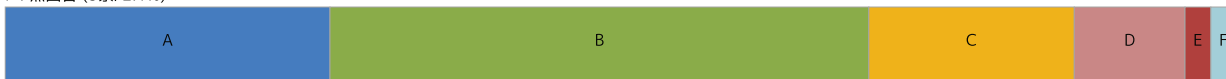
(Q.08) 人文学に関わる課題について、問題を発見し解決する力を見え、創造的に取り組むことができる。

- A: 達成できた (38票/26.4%)
- B: ある程度達成できた (73票/50.7%)
- C: どちらとも言えない (22票/15.3%)
- D: あまり達成できなかった (7票/4.9%)
- E: 達成できなかった (2票/1.4%)
- F: 無回答 (2票/1.4%)



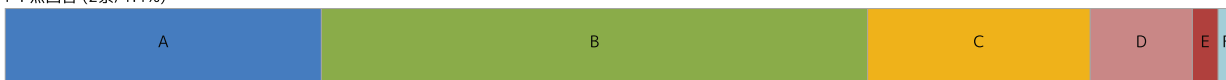
(Q.09) 人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その発展に貢献することができる。

- A: 達成できた (38票/26.4%)
- B: ある程度達成できた (63票/43.8%)
- C: どちらとも言えない (24票/16.7%)
- D: あまり達成できなかった (13票/9%)
- E: 達成できなかった (3票/2.1%)
- F: 無回答 (3票/2.1%)



(Q.10) 自由で批判的な精神と良識を見え、人類が直面する課題を直視し、問題の解決に積極的に寄与することができる。

- A: 達成できた (37票/25.7%)
- B: ある程度達成できた (64票/44.4%)
- C: どちらとも言えない (26票/18.1%)
- D: あまり達成できなかった (12票/8.3%)
- E: 達成できなかった (3票/2.1%)
- F: 無回答 (2票/1.4%)



(Q.11) 以下、Q.11からQ.15で、全学共通科目の学習に関してお伺いします。入学当初と比べ、以下の項目はどの程度向上した又は得られたと思いますか。(一つ選択。無回答も許可する。)

専門以外の幅広い知識・教養

- A: 大いに向上した (43票/29.9%)
- B: ある程度向上した (86票/59.7%)
- C: あまり向上しなかった (11票/7.6%)
- D: 全く向上しなかった (1票/0.7%)
- E: 無回答 (3票/2.1%)



- (Q.12) 専門分野で基礎となる学力
 A: 大いに向上した (44票/30.6%)
 B: ある程度向上した (79票/54.9%)
 C: あまり向上しなかった (18票/12.5%)
 D: 全く向上しなかった (1票/0.7%)
 E: 無回答 (2票/1.4%)



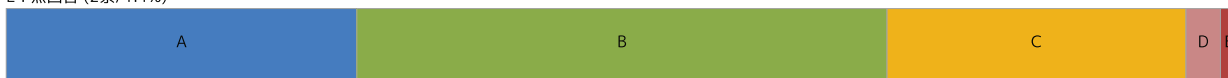
- (Q.13) 英語の能力 (英語以外の言語を第1外国語とした方は、その言語の能力)
 A: 大いに向上した (22票/15.3%)
 B: ある程度向上した (61票/42.4%)
 C: あまり向上しなかった (54票/37.5%)
 D: 全く向上しなかった (5票/3.5%)
 E: 無回答 (2票/1.4%)



- (Q.14) 初修外国語の能力
 A: 大いに向上した (30票/20.8%)
 B: ある程度向上した (67票/46.5%)
 C: あまり向上しなかった (34票/23.6%)
 D: 全く向上しなかった (11票/7.6%)
 E: 初修外国語は修得しなかった (0票/0%)
 F: 無回答 (2票/1.4%)



- (Q.15) 将来の研究分野や進路を決める手がかり
 A: 大いに得られた (41票/28.5%)
 B: ある程度得られた (62票/43.1%)
 C: あまり得られなかった (35票/24.3%)
 D: 全く得られなかった (4票/2.8%)
 E: 無回答 (2票/1.4%)



(Q.16) その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。